

# 令和7年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

教授 高橋龍也

## 取組状況

教育	<p>1. 作成したワークシートを配布し授業に活用。本年度は資料集を登用することで、関連事項の事象についてとらえやすくなるよう解説に用いた。懸案の演習不足については、定期試験前の模擬課題による復習の機会を増やした。(1学年、2学年)</p> <p>2. 4学年の選択授業においては、検討課題である授業内容を実践的な内容としたことによる講義内容への学生の取り組み方について、その向上に継続的に取り組み(トピックスの紹介等)、履修学生の参加意欲と実践力の育成の向上を行った。</p>
研究	<p>1. 4学年の実験教材として考えている「電気泳動」実験内容について具体的な物資の調達と試験について検討した。(機材の調達に問題が生じ完成には至らなかった)</p> <p>2. 課題研究の履修学生を通じ有機反応機構や官能基反応に関する知育玩具の開発を行った。ゲーム作成のためのルールや基本的な展開(ポーカー基本)を行い、モデルを作成、実践的な検証を通じ製品化。2学年にてさらに実施の経過を経て多方面の結果も合わせその有効性を合わせ学会にて発表する。(○高橋龍也、豊島雅幸、”有機化学を用いた知育玩具の開発_結合編”日本化学会第106春季大会、ポスター講演(P1-3pm-13)、2026。</p>
社会貢献	<p>1. 日本学術振興会 審査委員登録更新</p>